

コルモゴロフ拡張定理

1

これから射影を p で書きたいからという理由で、確率測度を P とかではなく普通に μ で表す頻度が増える。
(X, \mathcal{F}_X, μ) を測度空間, (Y, \mathcal{F}_Y) を可測空間とする. $\mathcal{F}_X/\mathcal{F}_Y$ 可測写像 $f: X \rightarrow Y$ に対して

$$f_{\#}\mu := \mu \circ f^{-1}$$

という記号を導入する.

定理 1.1. (Hopf の拡張定理)

有限加法族 F_0 上の有限加法的確率測度 μ が $\sigma(F_0)$ 上の σ 加法的確率測度 (即ち, 単に確率測度) に一意に拡張できる.

\Leftrightarrow 任意の単調減少列 $\{A_i\} \subset \mathcal{A}$ について, $\lim_n \mu(A_n) > 0$ ならば, $\bigcap_i A_i \neq \emptyset$ が成り立つ.

証明. 続編に収録. □

定理 1.2. (Kolmogorov の拡張定理)

μ_n を $(\mathbb{R}^n, \mathcal{B}(\mathbb{R}^n))$ 上の確率測度とする.

$\mu_n = p_{1, \dots, n, \#} \mu_{n+k} \quad (\text{for } \forall k \geq 1) \Rightarrow \exists \mu: (\mathbb{R}^\infty, \mathcal{B}(\mathbb{R}^\infty)) \text{ 上の確率測度 s.t. } \mu_n = p_{1, \dots, n, \#} \mu \quad \text{for } \forall n$

証明.

$\mathcal{S} := \{p_{1, \dots, n}^{-1}(A) \mid A \in \mathcal{B}(\mathbb{R}^n), n \in \mathbb{N}\}$ 上の有限加法的確率測度 μ' を $p_{1, \dots, n, \#} \mu' := \mu_n$ で定める.

任意の単調減少列 $\{S_i\} \subset \mathcal{S}$ について, $\lim_n \mu'(S_k) > 0$ ならば, $\bigcap_k S_k \neq \emptyset$ を示せば, Hopf の拡張定理より $\sigma(\mathcal{A}) = \mathcal{B}(\mathbb{R}^\infty)$ 上の確率測度に拡張できる. 従って, $\alpha := \lim_n \mu'(S_k) > 0$ として以下それを示す.

減少列 $\{S_i = p_{1, \dots, n}(A_i)\}$ をとり, 各 k に対して $A_k \in \mathcal{B}(\mathbb{R}^k)$ となるよう添字を付けなおして, 部分列をとる.
 A_k をコンパクト集合 K_k で内側から近似しておく.

$$\begin{aligned} \{\mu'(p_{1, \dots, k}^{-1}(A_k) \setminus p_{1, \dots, k}^{-1}(K_k)) &= \mu'(p_{1, \dots, k}^{-1}(A_k \setminus K_k)) \\ &= p_{1, \dots, k, \#} \mu'(A_k \setminus K_k) \mu_k(A_k \setminus K_k) \leq \frac{\alpha}{2^{k+1}} \text{ が成立.} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \mu' \left(\bigcap_{k=1}^n \{p_{1, \dots, k}^{-1}(K_k)\} \right) &\geq \mu'(p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n)) - \mu' \left(p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n) \cap \left(\bigcap_{k=1}^n p_{1, \dots, k}^{-1}(K_k) \right)^c \right) \\ &= \mu'(p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n)) - \mu' \left(\bigcup_{k=1}^n p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n) \cap (p_{1, \dots, k}^{-1}(K_k))^c \right) \\ &= \mu'(p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n)) - \sum_{k=1}^n \mu' \left(p_{1, \dots, n}^{-1}(A_n) \cap (p_{1, \dots, k}^{-1}(K_k))^c \right) \\ &= \alpha - \frac{\alpha}{2} = \frac{\alpha}{2} > 0 \end{aligned}$$

(第一不等号は, $K_k \subset A_n$ 故に, $\bigcap_{k=1}^n p_{1,\dots,k}^{-1}(K_k) \subset p_{1,\dots,n}^{-1}(A_n)$ だから.)

$\bigcap_{k=1}^n p_{1,\dots,k}^{-1}(K_k) \neq \emptyset$ なので, 各 n に対して,

$x^n := (x_1^n, x_2^n, \dots) \in \bigcap_{k=1}^n p_{1,\dots,k}^{-1}(K_k) \subset \mathbb{R}^\infty$ をとり $\{x^n\} \subset \mathbb{R}^\infty$ という列をつくと,

$n \leq m \Rightarrow x^m \in \bigcap_{k=1}^n p_{1,\dots,k}^{-1}$ なので, $p_{1,\dots,n}(x^m) \in K_1, \dots, K_n$ である. 従って,

$$x_1^1, x_1^2, x_1^3, \dots \in K_1$$

$$x_2^1, x_2^2, x_2^3, \dots \in K_2$$

$$x_3^1, x_3^2, x_3^3, \dots \in K_3$$

となるので, うまく収束部分列をとる操作を繰り返すことで, $(x_1, \dots, x_n) \in \bigcap_{k=1}^n K_k$ である.

故に, $x = (x_1, x_2, \dots) \in \bigcap_{k=1}^\infty K_k$ なる元をとると, $x \in \bigcap S_k$ が成り立つ.

□